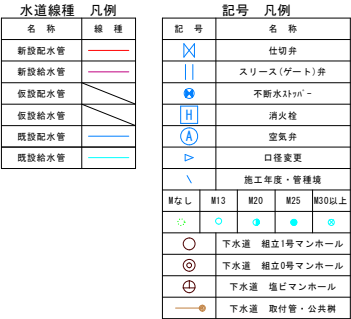


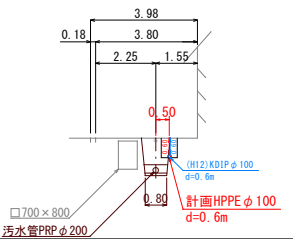
S=1: 500 (A1)
S=1: 1000 (A3)



S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

注)本図は、近傍の仕切弁や下水道設計時の試掘結果から推定した位置のため
施工時には注意すること。

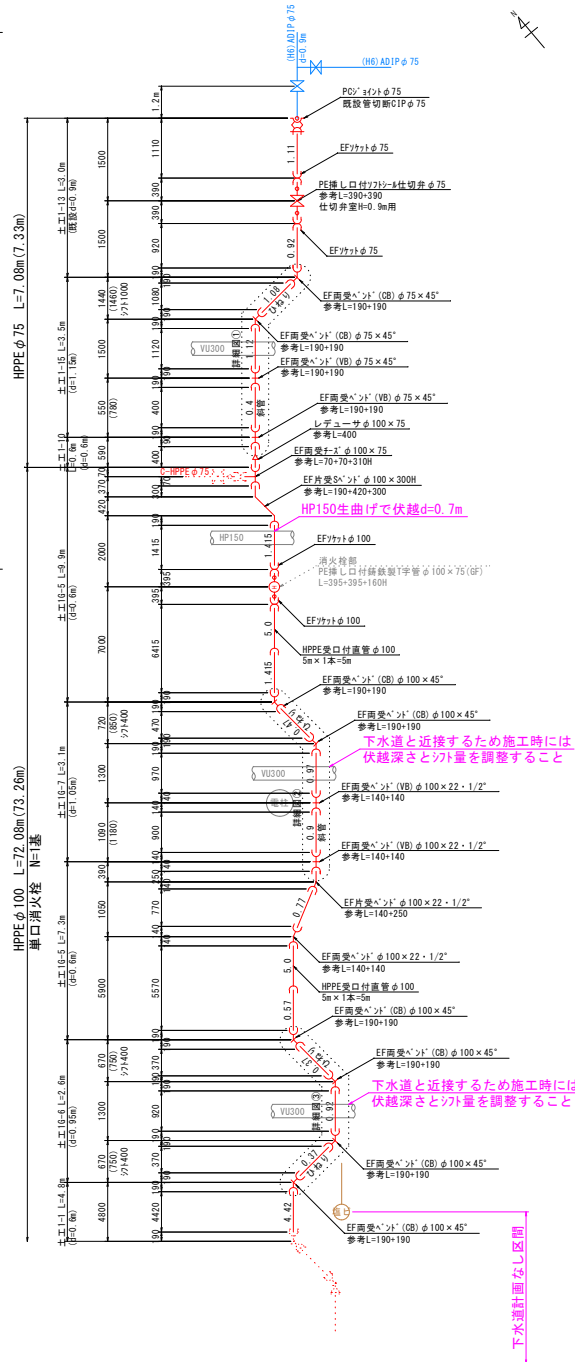
②-② 断面图



図面番号		縮尺	図 示	図 示
事 業 名	竹原市公共下水道事業			
種 別	本設配管詳細図(1/3)	番 号	*	
施 設 名				
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			

D-HPPE φ75

D-HPPE φ100

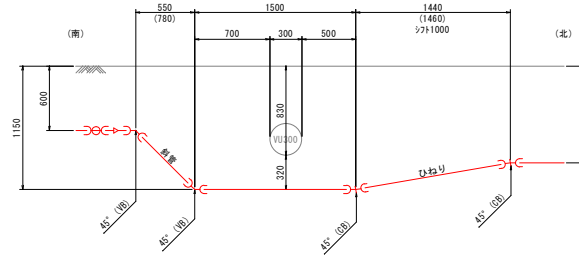


本設配管詳細図(1/3)

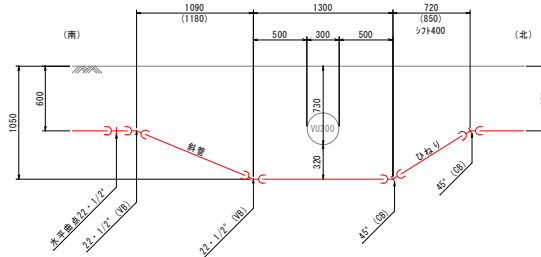
No. Scale



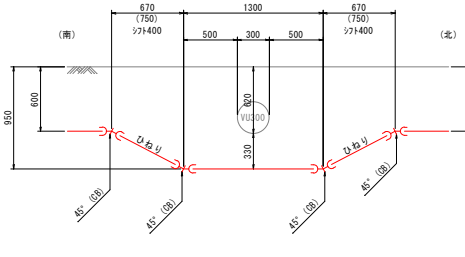
詳細図①



詳細図②

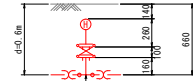


詳細図③



消火栓部

特 記
・路面より150mm程度下に埋設が
くするようにすること。



PE埋設口付鉄製1字管φ100×75 (GF)
L=305+305+160H
補修弁φ75×100 (GF-RF)
浅埋型地下式単口消火栓 参考H=260
フラスコ 補修栓 (GF) φ75 H=2組
フラスコ 補修栓φ75 H=2組
消火栓室

部材記号	凡例
○	EF受口
△	HPPE用H型受口
▽	鉄製管用H型受口
◇	造り用H型受口
×	EFフタ
+	PDV フタ
×	PPV フタ
+	EF用フタシタ仕切弁
+	埋設用ねじ込み仕切弁 (φ40以下)
+	不連続スリット
+	GFフタシタ・補強金具 (O印)

特 記
・埋設鉄製シートを路面下に布設すること。
・管には明示「フ」を布設すること。
・構造物との離隔は原則300mm以上を確保すること。

図面標記
(VB) : 垂直に曲管使用
(標記無し) : 水平に曲管使用
(CB) : 斜めに曲管使用 (ひねり)
フタ : 管の水平振幅 (偏芯量)
d : 管の土被り
延長旗揚げについて
() 無 : 管の平面延長
() 有 : 管の突延長

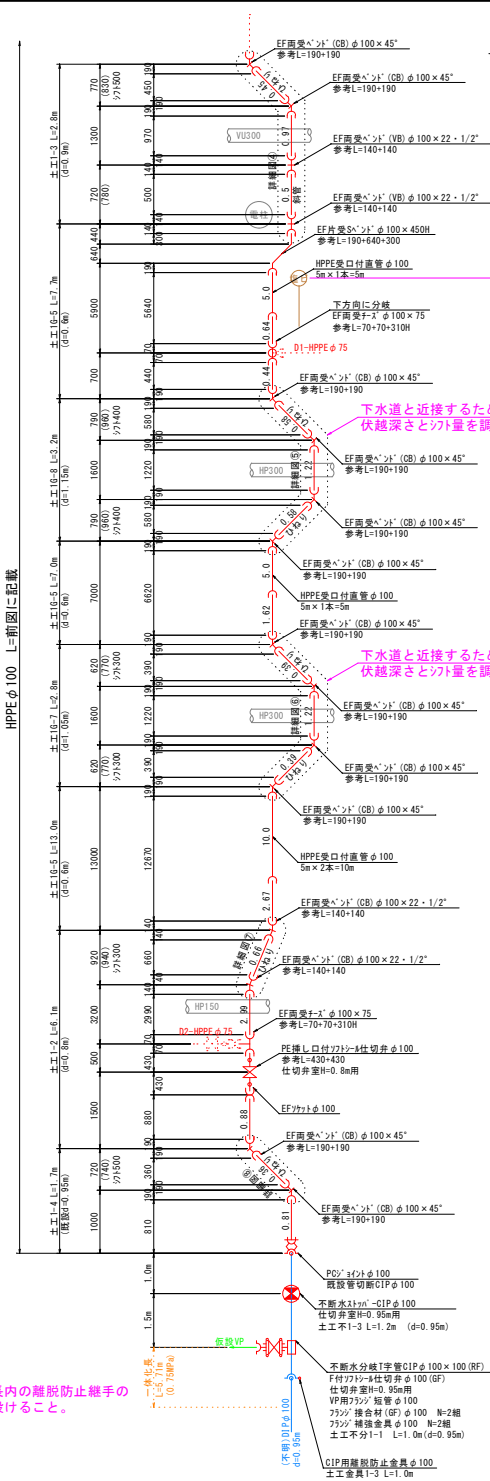
位置図



本設配管詳細図(1/3)

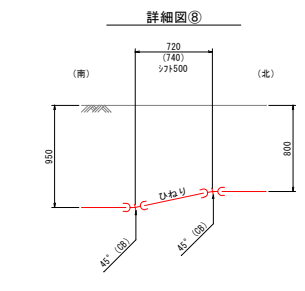
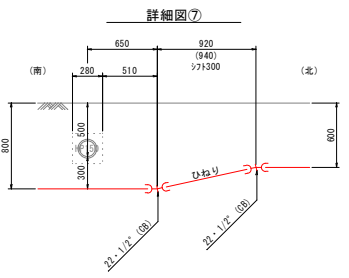
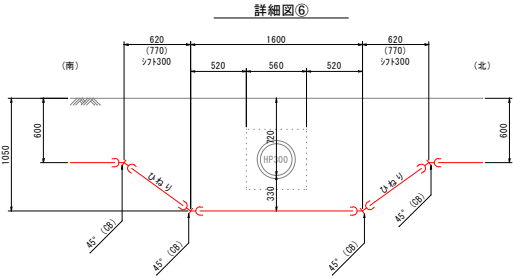
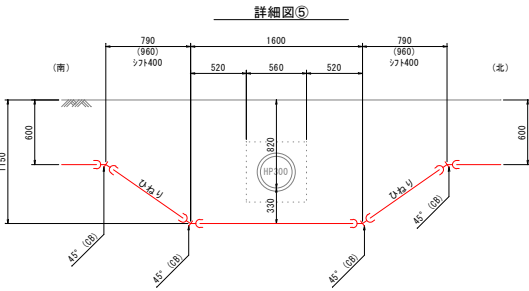
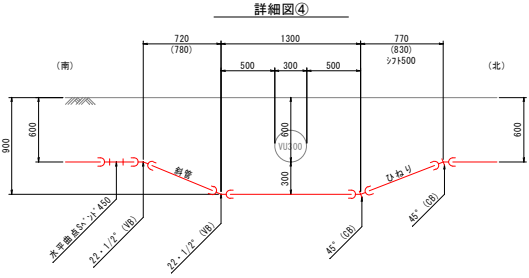
図面番号		縮尺	図示	図
事業名	竹原市公共下水道事業			
種別	本設配管詳細図(2/3)	番 号	*	
施設名				
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			

D-HPPE φ100



本設配管詳細図(2/3)

No. Scale



部材記号	凡例
EF	EF受口
HP	HPPE用J型受口
PD	鋼鉄管用J型受口
PP	塩ビ管用J型受口
EF	EFフタ
PD	PDフタ
PP	PPフタ
EF	EF新フタ仕切弁
PD	埋設用ねじ込み仕切弁(φ40以下)
PP	埋設用ねじ込み仕切弁(φ40以下)
EF	不排水スリット
PD	不排水スリット
PP	不排水スリット
EF	EFフタ
PD	PDフタ
PP	PPフタ

特記
・埋設構造シートを踏破下に布設すること。
・管には明示「フ」を布設すること。
・構造物との離隔は原則30cm以上を確保すること。

図面標記
(VB)：垂直に曲管使用
(標記無し)：水平に曲管使用
(CB)：斜めに曲管使用(ひねり)
フ：管の水平振幅(偏芯量)
d：管の土被り
延長旗揚げについて
()：管の平面延長
()：管の立面延長

位置図

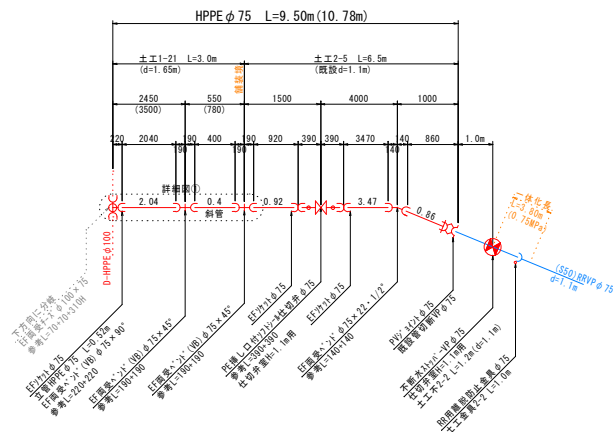


図面番号		縮尺	図示	課長
事業名	竹原市公共下水道事業			課長補佐
種別	本設配管詳細図(3/3)		番号 *	
施設名				課長
工事箇所	竹原市 本町 地内			設計者
設計年月日	竹 原 市			

本設配管詳細図 (3/3) No. Scale

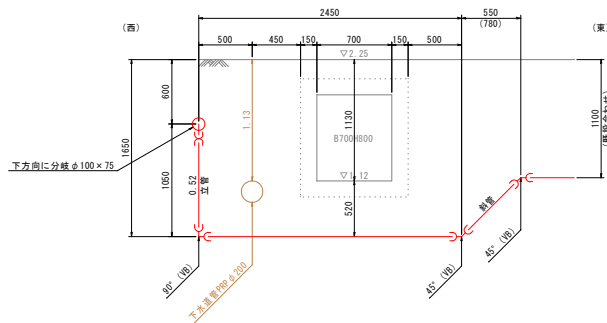
No. Scale

D1-HPPE ϕ 75

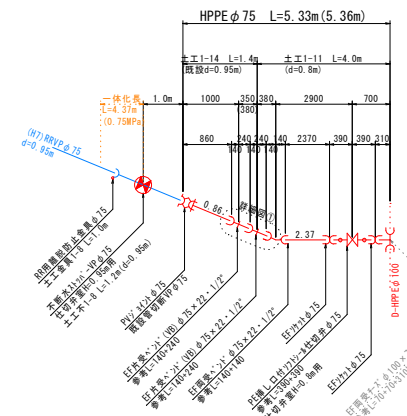


※ストッパー設置前に一体化長内の離脱防止継手の有無を確認し、必要により設けること。

詳細図①

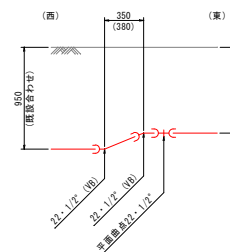


D2-HPPE ϕ 75



※ストッパー設置前に一体化長内の離脱防止継手の有無を確認し、必要により設けること。

詳細図①



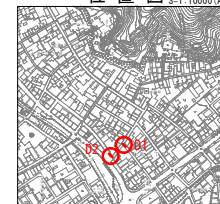
部材記号 凡例	
	EF受口
	HPPE用 γ 型受口
	鑄鉄管用 γ 型受口
	γ 型 γ 用 γ 型受口
	EF γ 出口
	PG γ 出口
	PV γ 出口
	PP γ 出口
	EF37mm仕切
	EF75mm仕切
	不漏水仕切
	GF/PP γ ・PPG補強金具(○印)

特 記

- ・埋設標識シートを路盤下に布設すること。
- ・管には明示テープを布設すること。
- ・構造物との離隔は原則30cm以上を確保すること。

図面標記
(VB) : 垂直に曲管使用
(標記無し) : 水平に曲管使用
(CB) : 斜めに曲管使用(ひねり)
シフト : 管の水平振幅(偏芯量)
d : 管の土被り
延長旗揚げについて
() 無 : 管の平面延長
() 有 : 管の突起延長

位置図 S=1:5000 (A1)
S=1:10000 (A3)



図面番号		縮尺	図示	課長
事業名	竹原市公共下水道事業			課長補佐
種別	本設給水管計画平面図	番号	*	
施設名				係長
工事箇所	竹原市 本町 地内			設計者
設計年月日	竹 原 市			



本設給水管 計画平面図 S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)



水道線種 凡例		記号 凡例		
名 称	線 種	記 号	名 称	
新設配水管			仕切弁	
新設給水管			スリース(ゲート)弁	
仮設配水管			不斷水タイプ	
仮設給水管			消火栓	
既設配水管			空気弁	
既設給水管			口径変更	
		施工年度・管種境		
Wなし	W13	W20	W25	W30以上
○	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール
◎	下水道	地下1号マンホール	地下2号マンホール	地下3号マンホール

(D路線HPPE φ100にて使用)

1G-5: φ100×d=0.6m
(下水道選別幅800(素掘d=1.1m)・管心離れ500)

掘削 埋戻

下水道工事にて
仮擁壁施工済
石倉継ぎ
(O含む)

仮擁壁
路壁
砂質土
ダスト
HPPE φ100

1G-6: φ100×d=0.95m
(下水道選別幅800(素掘d=1.1m)・管心離れ500)

掘削 埋戻

下水道工事にて
仮擁壁施工済
石倉継ぎ
(O含む)

仮擁壁
路壁
砂質土
ダスト
HPPE φ100

(D路線HPPE φ100にて使用)

1G-6: φ100×d=0.95m
(下水道選別幅800(素掘d=1.1m)・管心離れ500)

掘削 埋戻

下水道工事にて
仮擁壁施工済
石倉継ぎ
(O含む)

仮擁壁
路壁
砂質土
ダスト
HPPE φ100

(D路線HPPE φ100にて使用)

1G-7: φ100×d=1.05m
(下水道選別幅800(素掘d=1.1m)・管心離れ500)

掘削 埋戻

下水道工事にて
仮擁壁施工済
石倉継ぎ
(O含む)

仮擁壁
路壁
砂質土
ダスト
HPPE φ100

図面番号		縮尺	図 示	課 長
事 業 名	竹原市公共下水道事業			課長補佐
種 別	本設(給水管)土工断面図	番 号	*	
施 設 名				係 長
工事箇所	竹原市 本町 地内			設計者
設計年月日	竹 原 市			

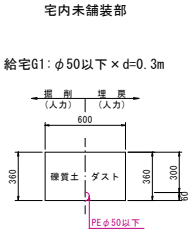
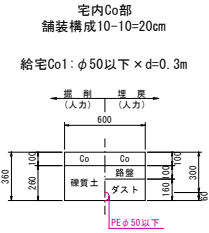
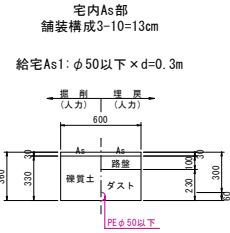
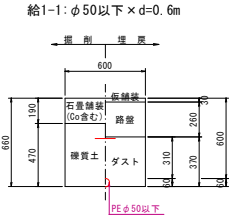
本設(給水管)土工断面図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

特 記
・埋設標準シートを路盤下に布設すること。

管 径	管 外 径	管 断 面 積 (m3)
φ 50以下	60	0.00
φ 75	90	0.01
φ 100	120	0.01
φ 150	170	0.02
φ 200	220	0.04

1. 黒レンガ・自然石舗装部
舗装構成6-3-10-10=29cm



図面番号		縮尺	図 示	図 表
事 業 名	竹原市公共下水道事業			
種 別	舗装構成図	番 号	*	図表補注
施 設 名				
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			図 表 補 注

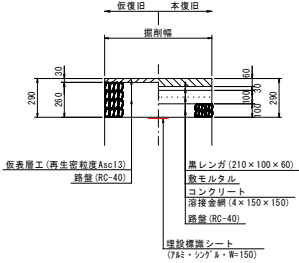
舗装構成図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

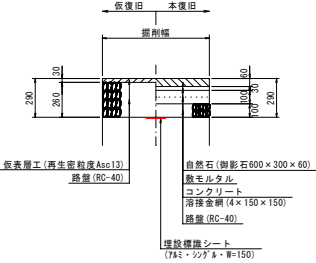
特 記
・埋設標識シートを路盤下に布設すること。

特 記
・本水道工事では、仮復旧までとする。
ただし、施工時には舗装の本復旧については発注者と協議すること

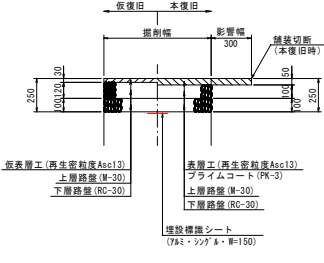
1 (A) 黒レンガ舗装部
舗装構成6-3-10-10=29cm



1 (B) 自然石舗装部
舗装構成6-3-10-10=29cm



2 市道 As車道部
舗装構成5-10-10=25cm



注) 舗装復旧時の影響巾は標準巾であり、舗装絶縁部まで
1.2m未満となる場合は、絶縁部まで舗装復旧すること。

図面番号		縮尺	図 示	図 示
事 業 名	竹原市公共下水道事業			
種 別	仮設配水管 計画平面図・横断面図	番 号	*	
施 設 名				
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			

仮設配水管 計画平面図

S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)

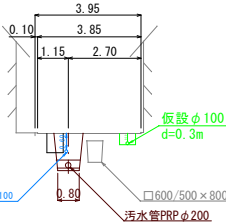


横断面図

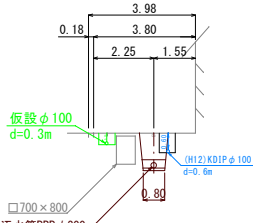
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

注)本図は、近傍の仕切弁や下水道設計時の試掘結果から推定した位置のため
施工時には注意すること。

①-① 断面図



②-② 断面図



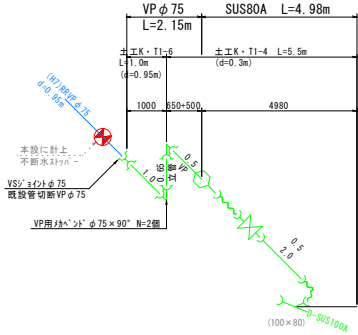
水道線種	凡例
新設給水管	—
仮設給水管	—
仮設給水管	—
既設給水管	—
既設給水管	—

記 号	名 称
仕切弁	仕切弁
スリース(ゲート)弁	スリース(ゲート)弁
不排水11ヶハ	不排水11ヶハ
消火栓	消火栓
空気弁	空気弁
口種変更	口種変更
施工年度・管種境	施工年度・管種境
Wなし	Wなし
W13	W13
W20	W20
W25	W25
W30以上	W30以上
下水道 結立1号マンホール	下水道 結立1号マンホール
下水道 結立0号マンホール	下水道 結立0号マンホール
下水道 塩ビマンホール	下水道 塩ビマンホール
下水道 取付管・公共側	下水道 取付管・公共側

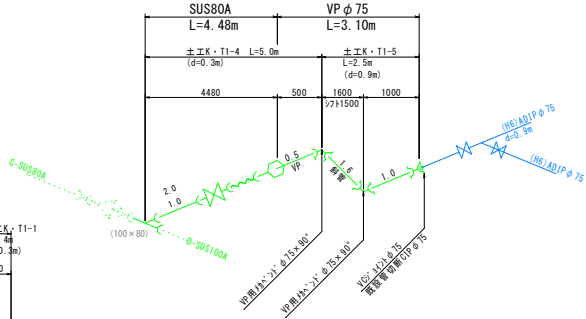
図面番号		縮尺	図 示	
事 業 名	竹原市公共下水道事業			図 示
種 別	仮設配管詳細図	番 号	*	
施 設 名				
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			

仮設配管詳細図 No. Scale

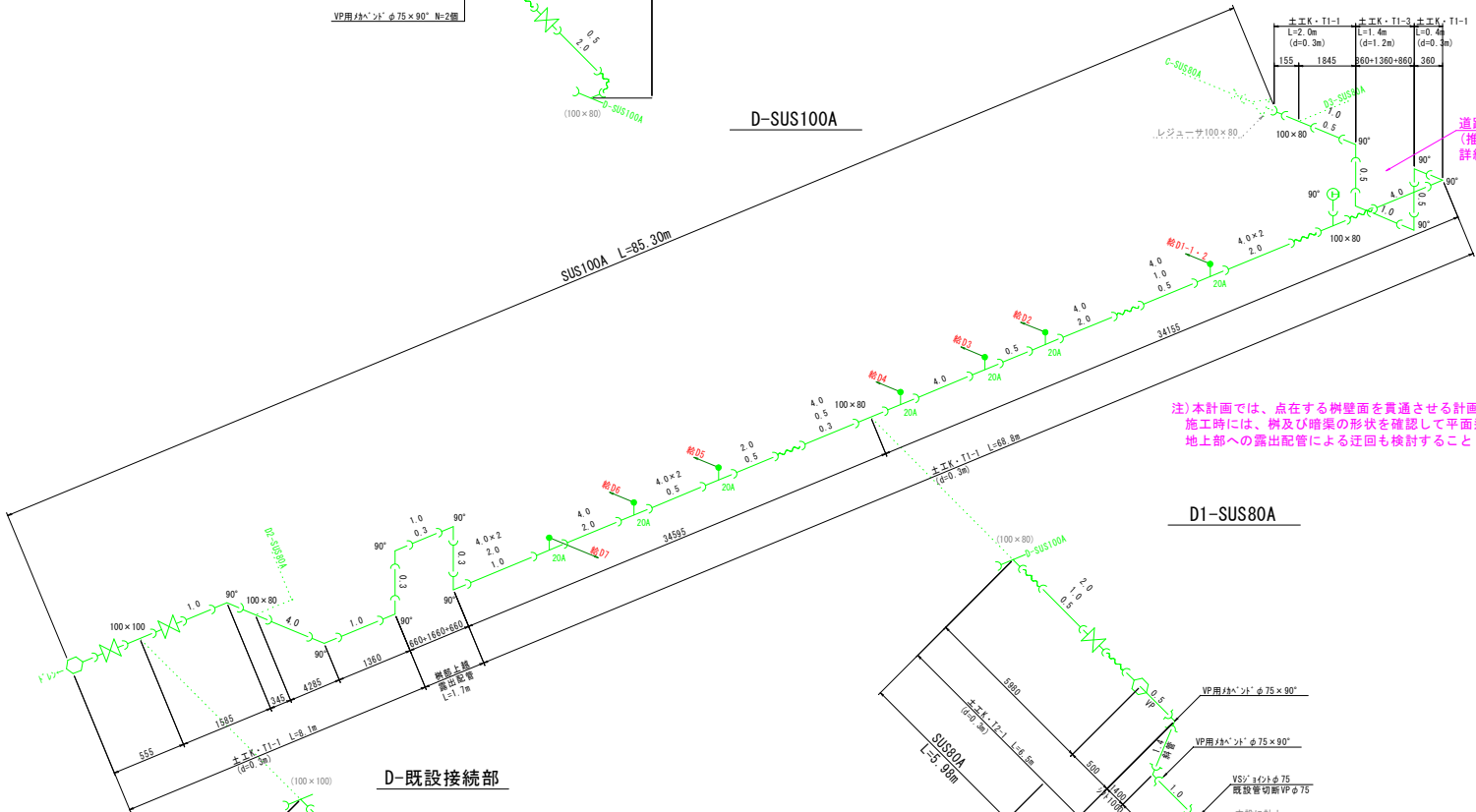
D2-SUS80A



D3-SUS80A

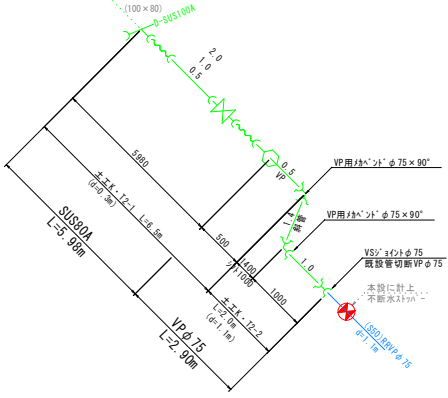


D-SUS100A

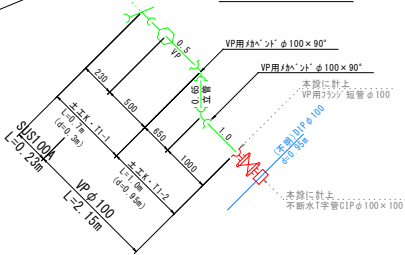


道路中央付近の暗渠伏線
(推定)底GL-1.0m程度
詳細な構造・寸法は不明

D1-SUS80A



D-既設接続部



REPCS-G型 資材表記 一覧			
資材名称	記号	資材名称	記号
直 管		レジュレーサー	
フレキ管		取り出し継管	
エルボ		側取消火栓	
テーズ		側取空気弁	
バルブ		受け×受け	
受け×受け		兼用直管	
受け×グルーピング、リング		マルジョイント	

REPCS-G型 部材寸法表			
名 称	50A	80A	100A
管 径	1000	1000	1000
管 長	90° 80+130	90° 120+170 45° 50+100	90° 150+210 45° 70+120
分岐	115+115+分岐 分岐50A 80H 分岐80A 90H	135+135+分岐 分岐50A 90H 分岐80A 100H 分岐100A 110H	
管 径	210(108H)	270(134H)	300(143H)
レジュサー	-	50A 190	50A 220 80A 220
受け×受け	20	20	20
取り出し継管	300	400	400
側取	200	200	
側取短管	100	110	120
側取直管	150(137H)	150(151H)	150(164H)
消火栓	-	-	-
空気弁	-	-	-

図面番号		縮尺	図 示	
事業 名	竹原市公共下水道事業			課長補佐
種 別	仮設給水管標準図	番 号	*	
施 設 名				係 長
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			設 計 者

※ゲートバルブは、本管からの分岐部材がSUS取出短管の場合は止水機能があるため不要とする。
また、バルブ位置は使用し易い位置に設け、必要に応じてBOX等で保護すること。

仮設給水管標準図 S=No, Scale

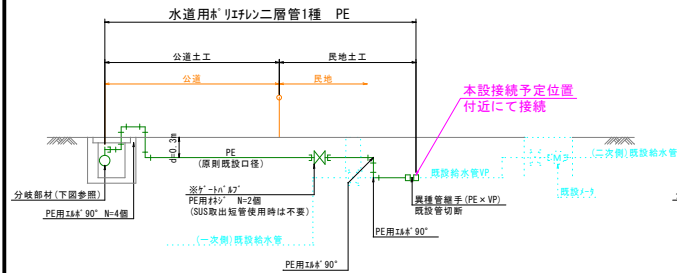
S=No, Scale

給水管PE二層管 ϕ 50mm以下

本管側溝内

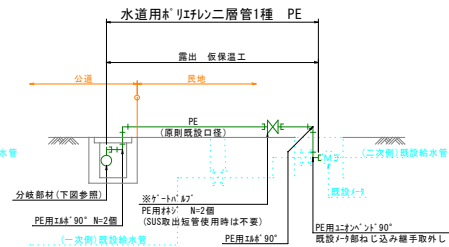
タイプ1

公道横断あり・埋設の場合



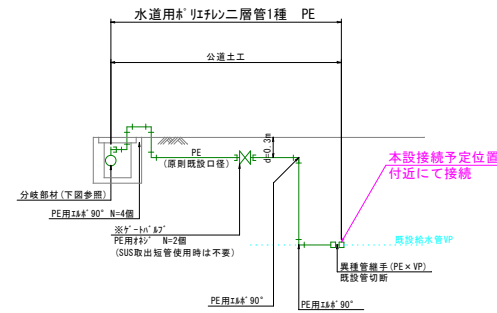
タイプ2

公道横断なし・露出の場合



タイプ3

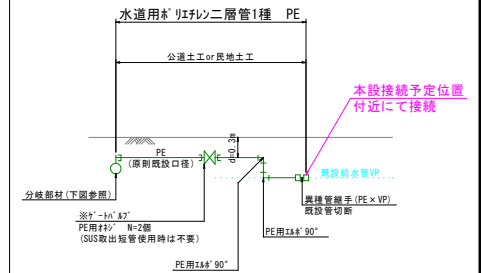
公道内接続



本管理設

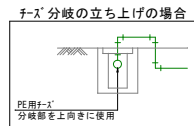
タイプ4

埋設の場合

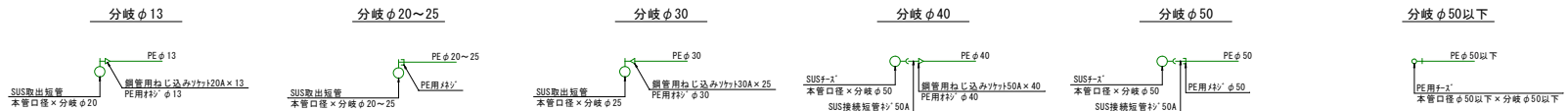


管種管径別 分岐部材

SUSレンタル管



PE



給水管 一覽表

[illegible]

No	給水台番号	氏名	標準間	計測本管		計測分岐口	既設分岐口	既設メータ口	仮保護工			公道工事			管内工事			備考
				口径	土質	口径	口径	φ25	φ30	φ13	1.石蓋	A5車道	3.公道	管内Go	管内Go	7.67	管内E	
検D1-1	0004006		タイP4(復設)	100	0.3	20	20	M13				3.4				0.5		
検D1-2	0004014		上総と西側給水管					M13										
検D2	0004022		タイP4(復設)	100	0.3	13	13	M13				3.3				0.5		
検D3	0004031		タイP4(復設)	100	0.3	13	13	M13				3.3				0.5		
検D4	0004049		タイP4(復設)	100	0.3	13	13	M13				3.3				0.5		
検D5	0004057		タイP4(復設)	100	0.3	13	13	M13				3.3				0.5		
検D6	0003719		タイP4(復設)	100	0.3	13	13	M13				3.3				0.5		
検D7	0006669		タイP4(復設)	100	0.3	20	20	M20				0.5						
検D9	番号なし			100	0.3													
検D文	番号なし			100	0.3													
	合計											20.4				2.6	1.0	

- ・既設分岐口径は、メータ口径と同じと想定
- ・共同給水管の分岐口径は、メータ口径と個数から想定
- ・既設メータ口径は、現地で確認出来なかった箇所については貸与資料の口径を記載
なお、貸与資料より、メータなし箇所は「Mなし」、止水栓止めの箇所は「栓止め」と記載

図面番号		縮尺	図 示	
事 業 名	竹原市公共下水道事業			図面種別
種 別	仮設土工断面図			番 号
施 設 名	竹 原 市			※
工事箇所	竹原市 本町 地内			係 長
設計年月日				設計者

注) 仮設時の発生土戻し時に不足する土量については、購入土にて補填すること
(数量計算書にて計上済)

仮設土工断面図

S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)

管径	管外径	管断面積 (㎡)
φ 50 以下	60	0.00
φ 75	90	0.01
φ 100	120	0.01
φ 150	170	0.02
φ 200	220	0.04

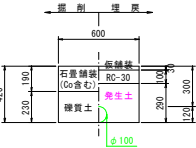
図面表記
K : 仮配管布設時
T : 仮配管撤去時

1. 黒レンガ・自然石舗装部
舗装構成6-3-10-10=29cm

2. 市道 As車道部
舗装構成5-10-10=25cm

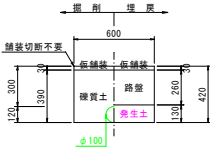
(仮設時)

K1-1: φ 100 × d=0.3m



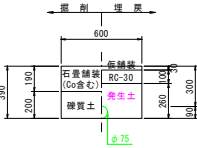
(撤去時)

T1-1: φ 100 × d=0.3m



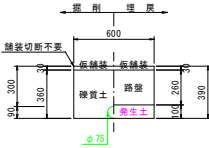
(仮設時)

K1-4: φ 75 × d=0.3m



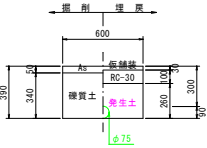
(撤去時)

T1-4: φ 75 × d=0.3m



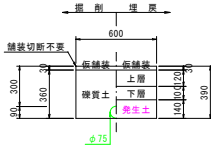
(仮設時)

K2-1: φ 75 × d=0.3m



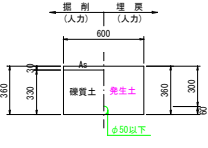
(撤去時)

T2-1: φ 75 × d=0.3m

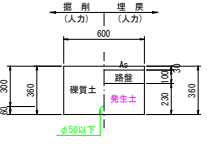


宅内As部
舗装構成3-10=13cm

K宅As1: φ 50 以下 × d=0.3m



T宅As1: φ 50 以下 × d=0.3m

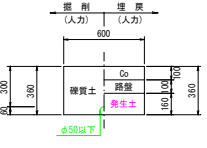


宅内Co部
舗装構成10-10=20cm

K宅Co1: φ 50 以下 × d=0.3m

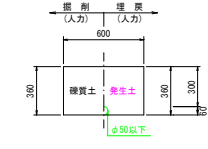


T宅Co1: φ 50 以下 × d=0.3m



宅内未舗装部

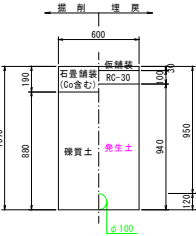
K宅G1: φ 50 以下 × d=0.3m



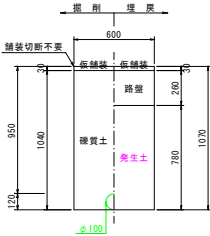
T宅G1: φ 50 以下 × d=0.3m



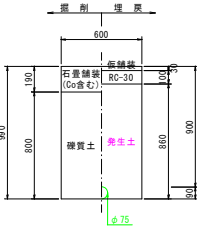
K1-2: φ 100 × d=0.95m



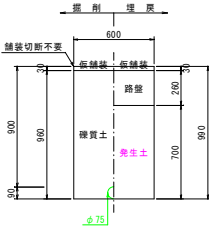
T1-2: φ 100 × d=0.95m



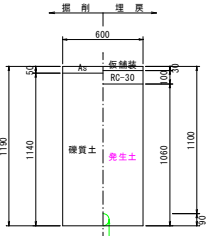
K1-5: φ 75 × d=0.9m



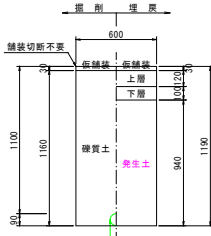
T1-5: φ 75 × d=0.9m



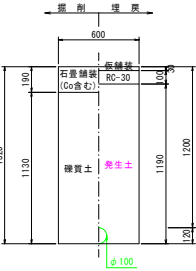
K2-2: φ 75 × d=1.1m



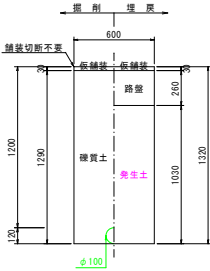
T2-2: φ 75 × d=1.1m



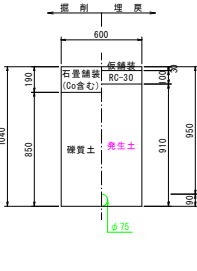
K1-3: φ 100 × d=1.2m



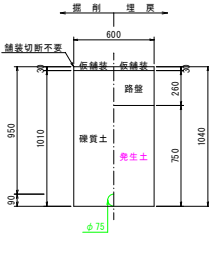
T1-3: φ 100 × d=1.2m



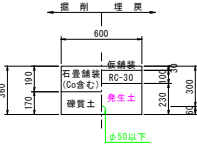
K1-6: φ 75 × d=0.95m



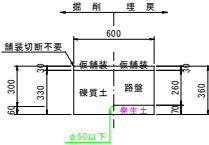
T1-6: φ 75 × d=0.95m



K1-7: φ 50 以下 × d=0.3m



T1-7: φ 50 以下 × d=0.3m

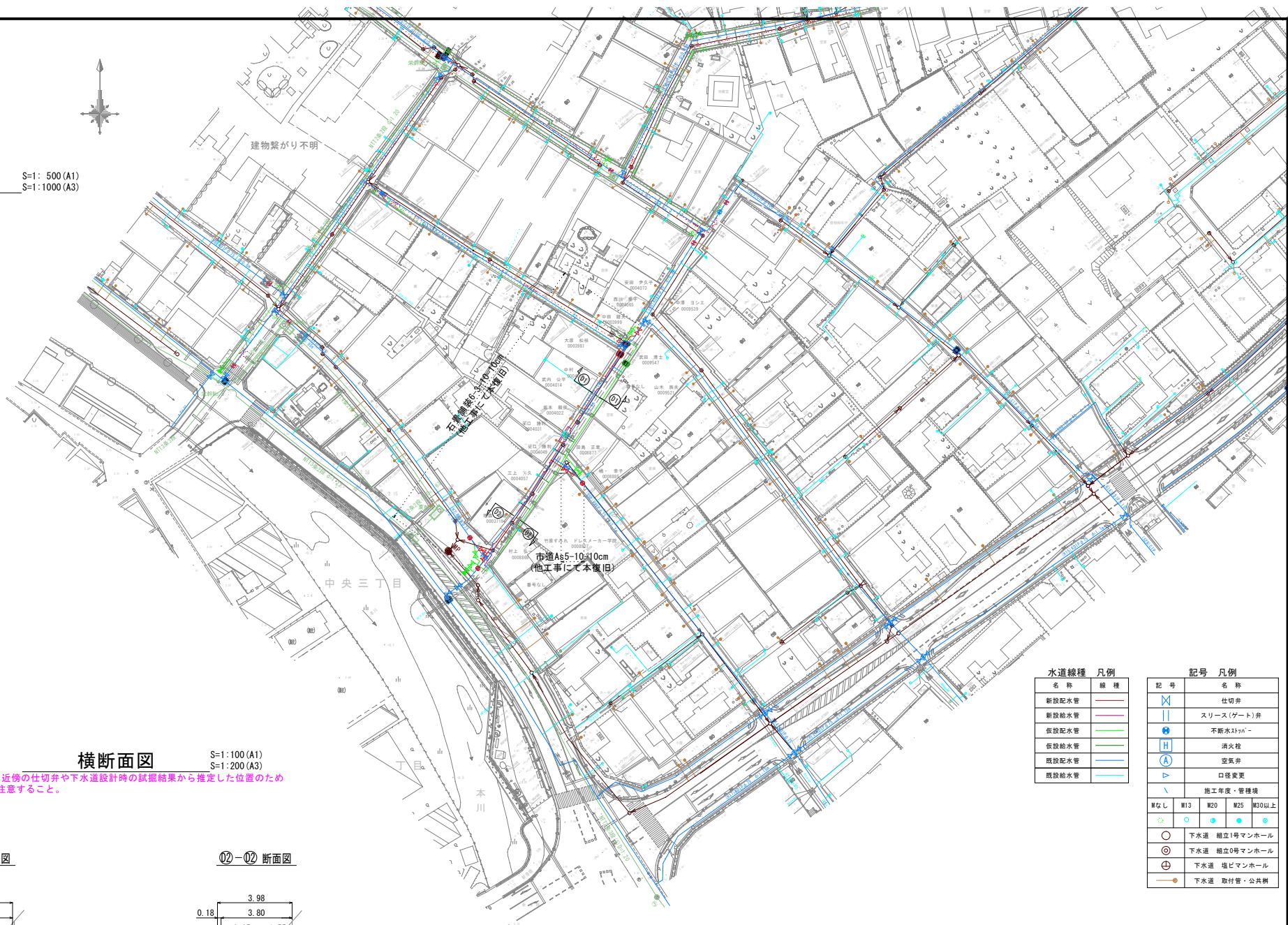


図面番号		縮尺	図 示	
事業 名	竹原市公共下水道事業			課長補佐
種 別	舗装復旧平面図	番 号	*	
施 設 名				係 長
工事箇所	竹原市 本町 地内			
設計年月日	竹 原 市			設 計 者



舖裝復旧平面図

S=1: 500 (A1)
S=1: 1000 (A3)

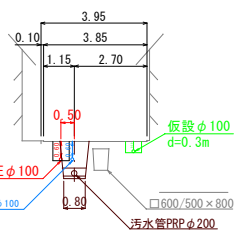


横断面図

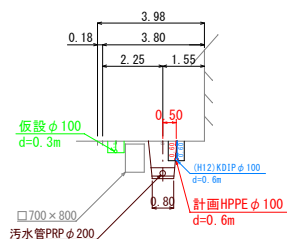
S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

注)本図は、近傍の仕切弁や下水道設計時の試掘結果から推定した位置のため
施工時には注意すること。

①-① 断面图



②-② 断面图



水道線種		凡例
名 称	線 種	
新設配水管		
新設給水管		
仮設配水管		
仮設給水管		
既設配水管		
既設給水管		

記号	名 称
	仕切井
	スリース(ゲート)弁
	不斷水ホブ [※]
	消火栓
	空気弁
	口径変更
	施工年度・管種境
■なし	W13 W20 W25 W30以上
	 下水道 緑地1号マンホール
	 下水道 緑地2号マンホール
	 下水道 塩ビマンホール
	 下水道 取替管・公共用

図面番号	縮尺	図 示	図 示
事業名	竹原市公共下水道事業		
種 別	既設管廃止平面図	番 号	*
施設名			
工事箇所	竹原市 本町 地内		
設計年月日	竹 原 市		

既設管廃止平面図

S=1: 500 (A1)
S=1:1000 (A3)



水道線種	凡 例
新設配水管	緑 線
新設給水管	赤 線
仮設配水管	青 線
仮設給水管	黄 線
既設配水管	青 線
既設給水管	黄 線

記 号	名 称
✂	仕切弁
	スリース(ゲート)弁
⊕	不排水ストップ
H	消火栓
A	空気弁
▷	口種変更
\\	施工年度・管種境
Wなし	
W13	
W20	
W25	
W30以上	
○	下水道 組立1号マンホール
⊙	下水道 組立0号マンホール
⊕	下水道 塩ビマンホール
●	下水道 取付管・公共側